



第3回長岡京市中小企業振興推進会議

令和5年8月24日（木）

午後3時00分から

長岡京市立産業文化会館3階第2会議室

第3回中小企業振興推進会議

1. 第2回推進会議の振り返り（5分程度）
2. 基礎データの共有・評価指標について（5分程度）
3. 各団体の取組・事業等の報告（20分程度）
4. 中小企業振興に関する意見交換（30分程度）
5. 条例趣旨の理解促進策について（30分程度）
6. 次回推進会議について・その他（5分程度）

1. 第2回推進会議の振り返り

6月1日（木） 10:00～@産業文化会館

- (1) 関係団体の取組・基礎データの共有
- (2) 進捗管理の手法について
- (3) 中小企業振興基本条例の理解促進

(1) 関係団体の取組・基礎データの共有

- 市、商工会、商店街、地産地消推進協議会
（農業）、京都済生会病院（医療福祉）、京
都府の取組を一覧化して共有
- 長岡京市の基礎データを共有

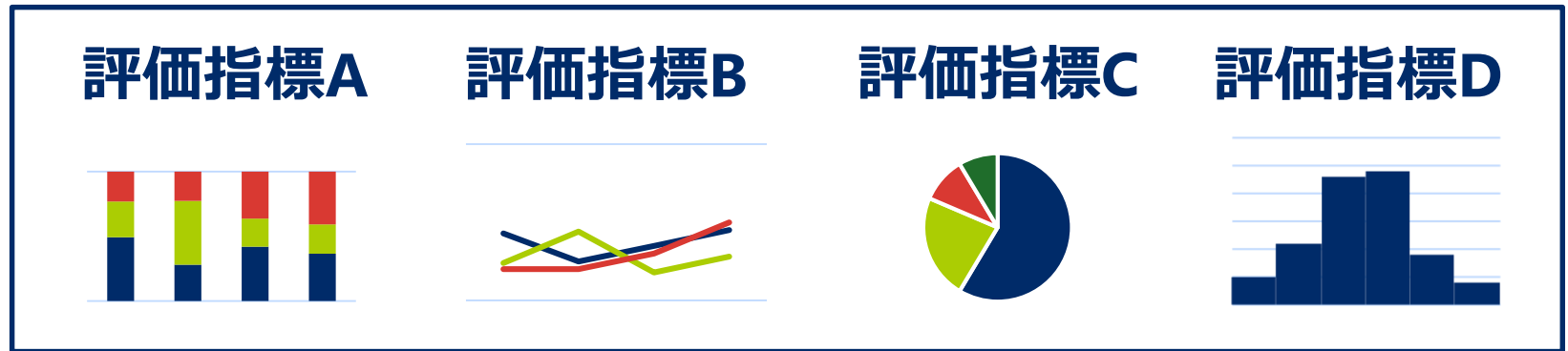
見える化を継続、さらに深堀していく



連携して効果的な施策につなげる

(2) 進捗管理の手法について

評価指標を設定し、中長期的に中小企業振興の進み具合を確認していくことを共有



どのような事柄を見ていくか

推進体制のイメージ図

施策推進のサイクル

1 まずは“見える化”

- ・ 各団体の取組・様々なデータを共有
- ・ 取組の重なり具合や不足する部分、強みや弱みを確認
- ・ 各団体の役割を理解する

2 各団体の施策の実施状況と効果を検証

3 連携して効果的な施策を推進する



進み具合を中長期的に確認

評価指標を設定

中長期的に長岡京市の中小企業振興の進み具合を確認する

評価指標A 評価指標B 評価指標C 評価指標D



確認・評価

1. 何を中長期的に観測すれば進み具合を確認できるか
2. いくつかの評価指標を設定
3. 各評価指標の推移から中小企業振興の進み具合を確認・評価
4. 施策推進に反映させていく

中小企業振興の推進

目標・将来像

リンクする場合も

サイクルを回しながら、
目標・将来像を共通認識化する
(最初から決めにかかるものではない)

(3) 中小企業振興基本条例の理解促進

中小企業振興イベントを提案

- 対象を明確にした方がよい
- まずは事業者の方に条例の存在や理念を知ってもらうことが重要



イベント以外の手法も含め

どうすれば事業者の方に
条例を知ってもらえるか？

2. 基礎データの共有

長岡京市の特徴や現状を知るために、
さまざまな基礎データを共有していく



産業別事業所数の推移①

産業種別事業所数	H24	H28	R3	H28-R3 増減率
全産業	2,689	2,601	2,566	-1.3%
A 農業, 林業	0	1	4	300.0%
B 漁業	0	0	-	-
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	0	0	-	-
D 建設業	225	211	213	0.9%
E 製造業	193	171	166	-2.9%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	2	2	3	50.0%
G 情報通信業	16	17	18	5.9%
H 運輸業, 郵便業	55	57	60	5.3%
I 卸売業, 小売業	559	533	476	-10.7%
J 金融業, 保険業	31	34	37	8.8%
K 不動産業, 物品賃貸業	294	275	264	-4.0%
L 学術研究, 専門・技術サービス業	109	105	142	35.2%
M 宿泊業, 飲食サービス業	344	312	267	-14.4%
N 生活関連サービス業, 娯楽業	277	259	247	-4.6%
O 教育, 学習支援業	146	164	162	-1.2%
P 医療, 福祉	281	307	337	9.8%
Q 複合サービス事業	11	13	12	-7.7%
R サービス業(他に分類されないもの)	146	140	158	12.9%

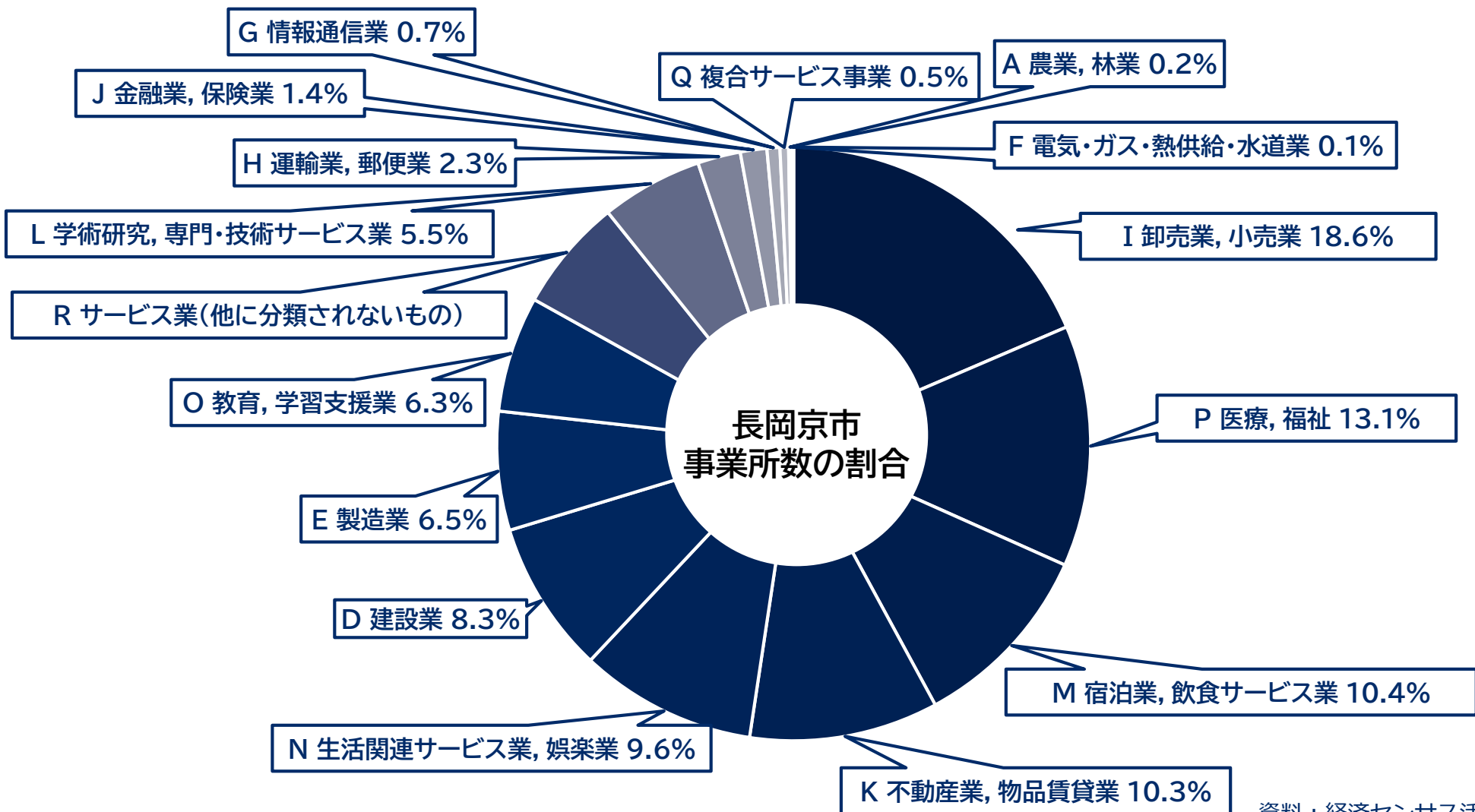
産業種別事業所数	H24	H28	R3	H28-R3 増減率
全産業	117,884	113,774	110,564	-2.8%
A 農業, 林業	252	280	480	71.4%
B 漁業	24	22	20	-9.1%
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	30	23	23	0.0%
D 建設業	9,232	8,525	8,588	0.7%
E 製造業	15,207	13,556	11,992	-11.5%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	55	71	90	26.8%
G 情報通信業	1,086	963	1,223	27.0%
H 運輸業, 郵便業	2,209	2,110	2,142	1.5%
I 卸売業, 小売業	30,538	29,033	26,212	-9.7%
J 金融業, 保険業	1,552	1,498	1,541	2.9%
K 不動産業, 物品賃貸業	8,584	8,087	8,694	7.5%
L 学術研究, 専門・技術サービス業	4,343	4,337	5,094	17.5%
M 宿泊業, 飲食サービス業	15,634	15,200	13,840	-8.9%
N 生活関連サービス業, 娯楽業	9,333	9,097	8,422	-7.4%
O 教育, 学習支援業	3,623	3,664	3,516	-4.0%
P 医療, 福祉	7,399	8,740	9,299	6.4%
Q 複合サービス事業	627	594	581	-2.2%
R サービス業(他に分類されないもの)	8,145	7,974	8,807	10.4%

▶ 事業所総数は減少傾向

▶ ただし、事業所総数の減少率は鈍化(H24-H28は▲3.3%)

資料: 経済センサス活動調査

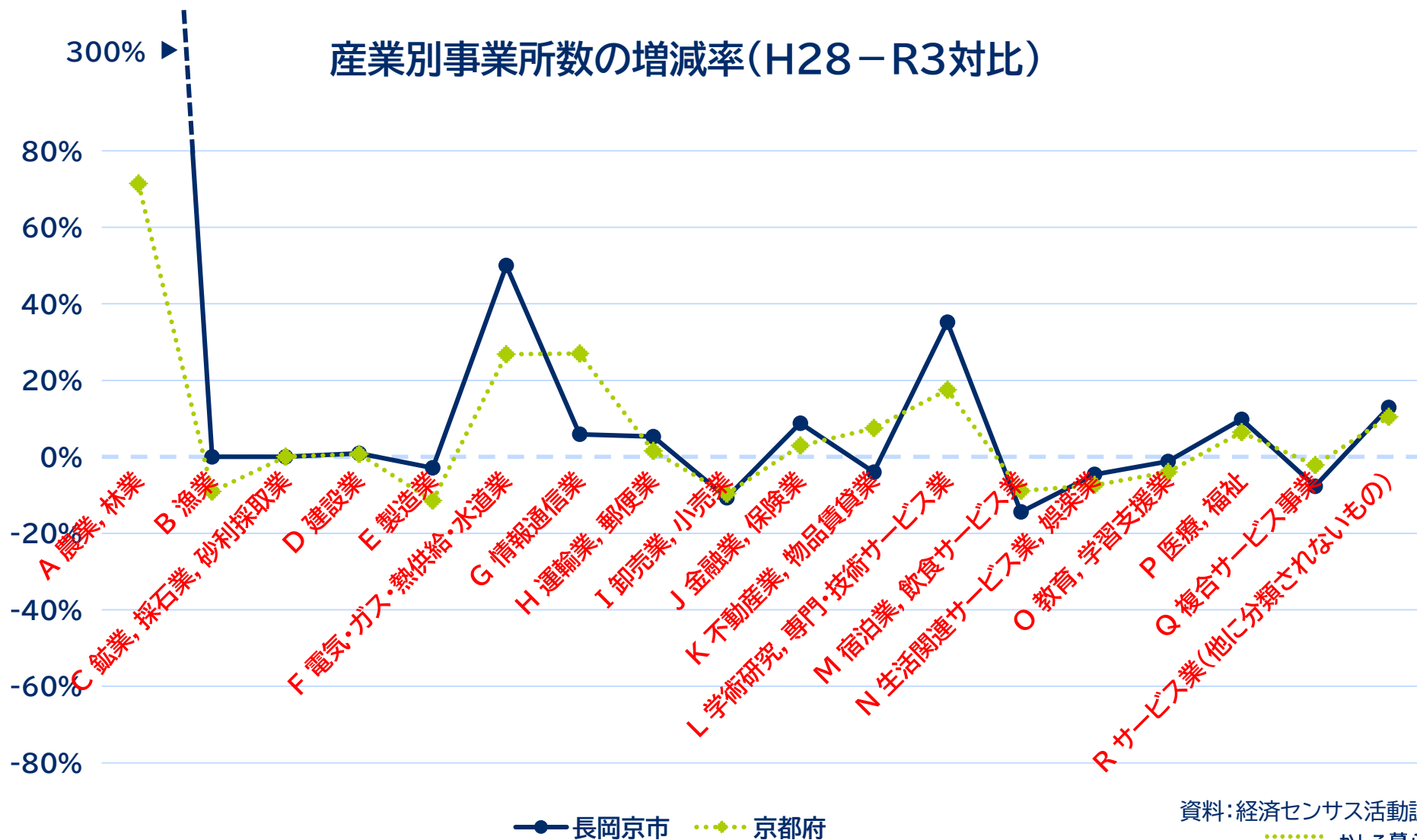
産業別事業所数の割合（R3）



資料：経済センサス活動調査

産業別事業所数の推移②

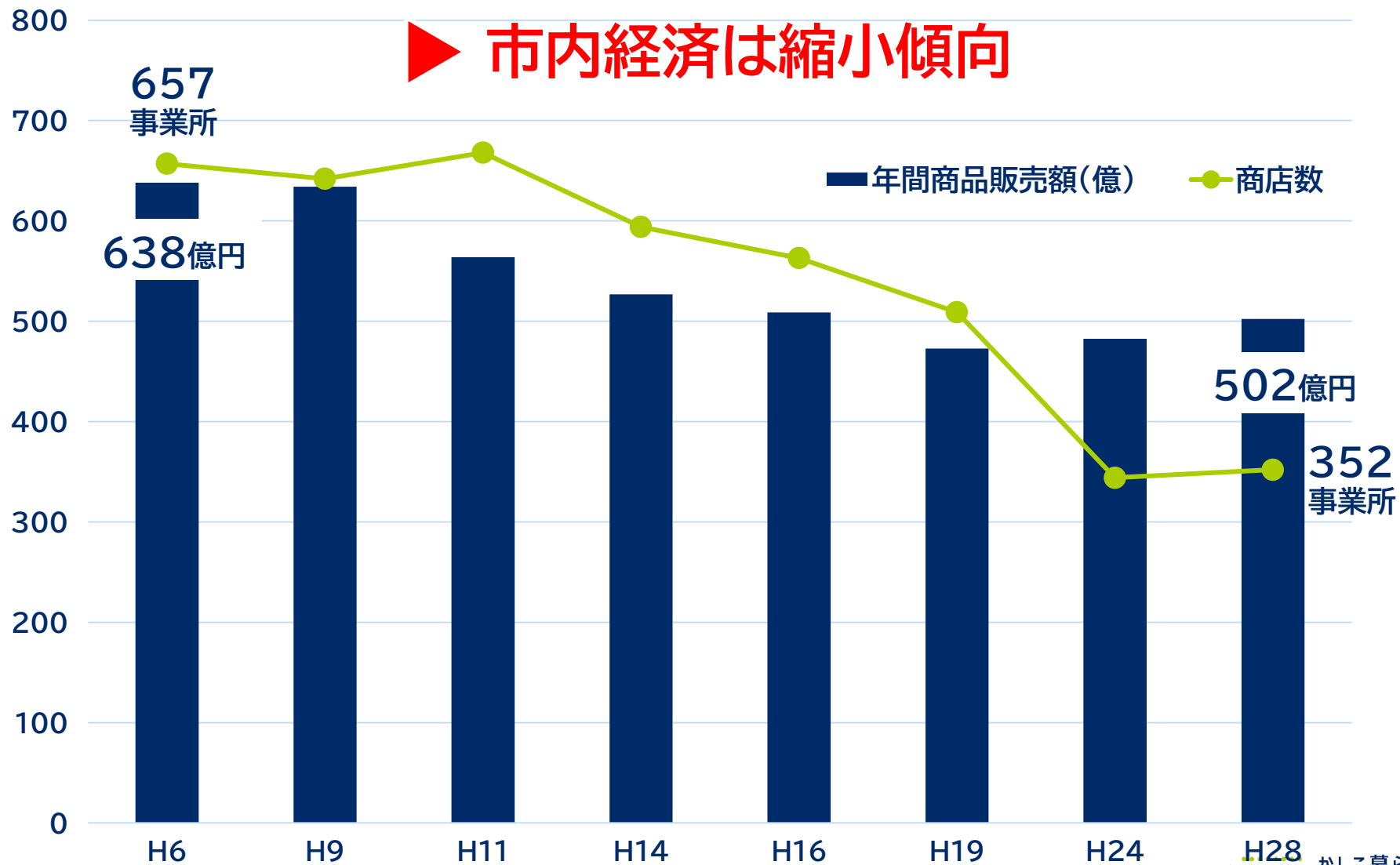
産業別事業所数の増減率(H28-R3対比)



資料: 経済センサス活動調査

商店（小売業）の現状

資料：商業統計調査・経済センサス（活動調査）



産業別従業員数の推移①

長岡京市

産業種別事業所数	H24	H28	R3	H28-R3 増減率
全産業	29,582	30,067	32,029	6.5%
A 農業, 林業	0	4	22	450.0%
B 漁業	0	0	-	-
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	0	0	-	-
D 建設業	1,168	1,056	1,152	9.1%
E 製造業	9,001	9,397	9,664	2.8%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	103	67	73	9.0%
G 情報通信業	289	279	208	-25.4%
H 運輸業, 郵便業	1,472	1,352	1,660	22.8%
I 卸売業, 小売業	4,285	4,620	4,402	-4.7%
J 金融業, 保険業	540	464	480	3.4%
K 不動産業, 物品賃貸業	872	813	839	3.2%
L 学術研究, 専門・技術サービス業	601	769	1,097	42.7%
M 宿泊業, 飲食サービス業	2,095	1,840	1,677	-8.9%
N 生活関連サービス業, 娯楽業	1,323	1,115	930	-16.6%
O 教育, 学習支援業	1,111	1,311	1,987	51.6%
P 医療, 福祉	5,013	5,590	6,443	15.3%
Q 複合サービス事業	87	143	136	-4.9%
R サービス業(他に分類されないもの)	1,622	1,247	1,259	1.0%

京都府

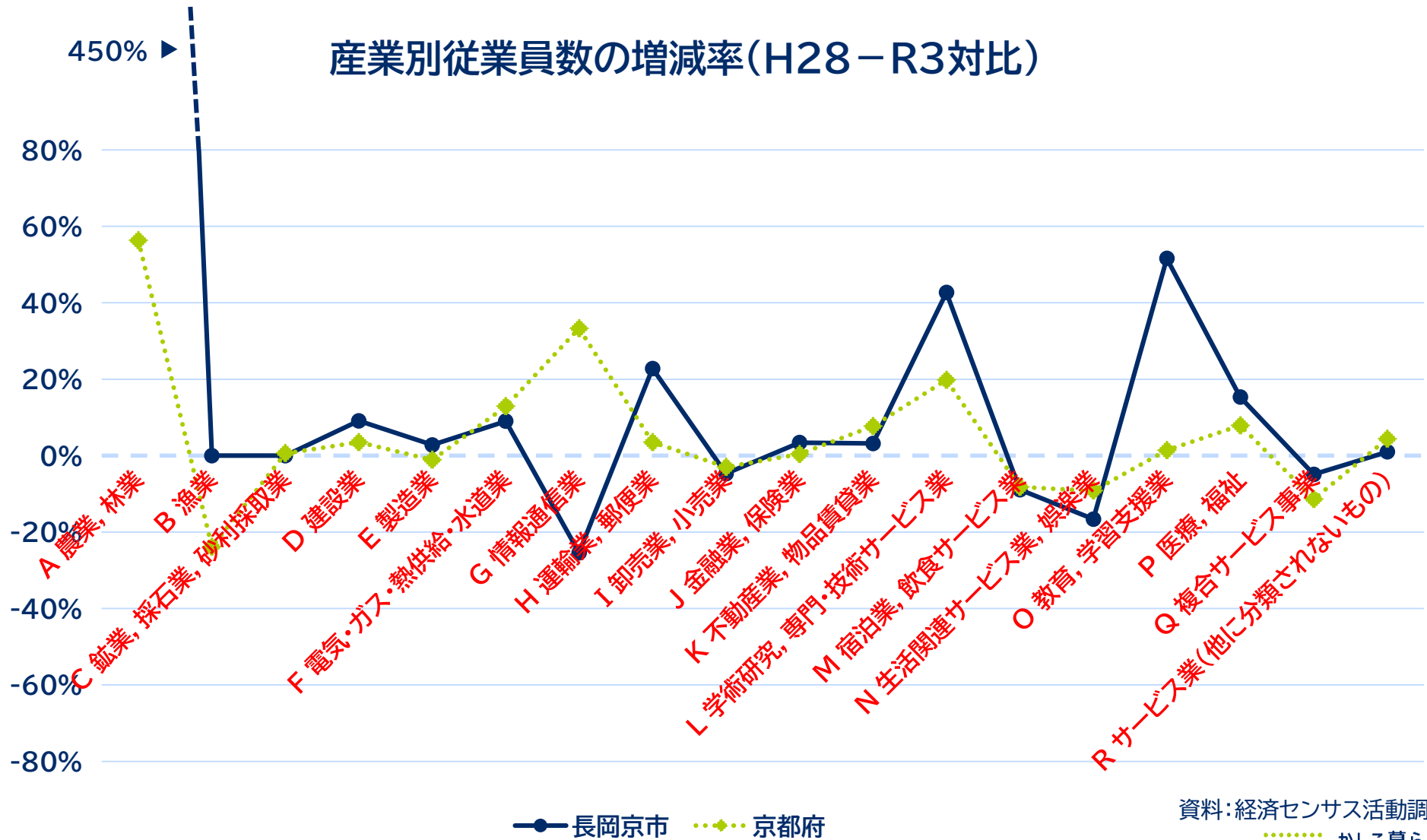
産業種別事業所数	H24	H28	R3	H28-R3 増減率
全産業	1,118,404	1,137,370	1,148,970	1.0%
A 農業, 林業	3,263	3,832	5,990	56.3%
B 漁業	320	343	261	-23.9%
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	254	156	157	0.6%
D 建設業	56,958	50,409	52,159	3.5%
E 製造業	188,279	182,901	180,810	-1.1%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	2,728	2,026	2,287	12.9%
G 情報通信業	16,251	14,576	19,435	33.3%
H 運輸業, 郵便業	58,446	55,419	57,340	3.5%
I 卸売業, 小売業	249,075	247,308	239,889	-3.0%
J 金融業, 保険業	26,551	26,653	26,772	0.4%
K 不動産業, 物品賃貸業	31,751	30,328	32,654	7.7%
L 学術研究, 専門・技術サービス業	28,948	29,788	35,674	19.8%
M 宿泊業, 飲食サービス業	130,423	125,617	115,266	-8.2%
N 生活関連サービス業, 娯楽業	51,397	46,064	41,805	-9.2%
O 教育, 学習支援業	56,381	66,259	67,199	1.4%
P 医療, 福祉	132,826	163,193	176,055	7.9%
Q 複合サービス事業	6,133	8,349	7,399	-11.4%
R サービス業(他に分類されないもの)	78,324	84,149	87,818	4.4%

▶ 従業員総数は増加傾向

資料: 経済センサス活動調査

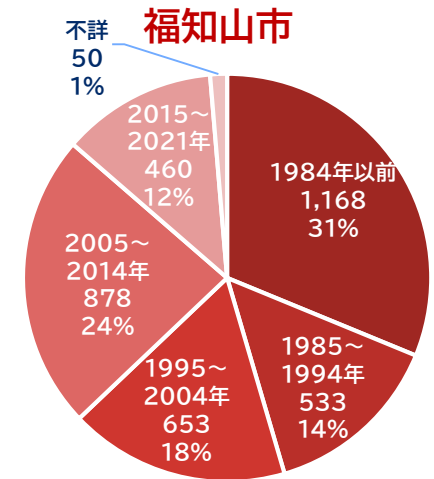
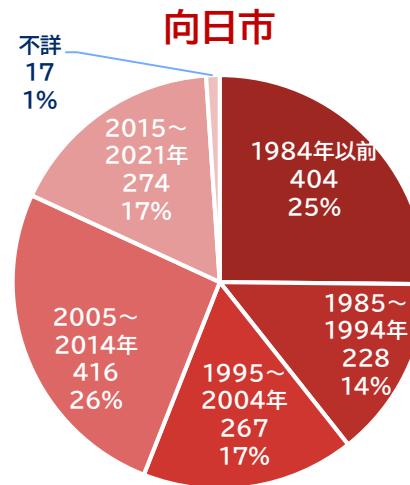
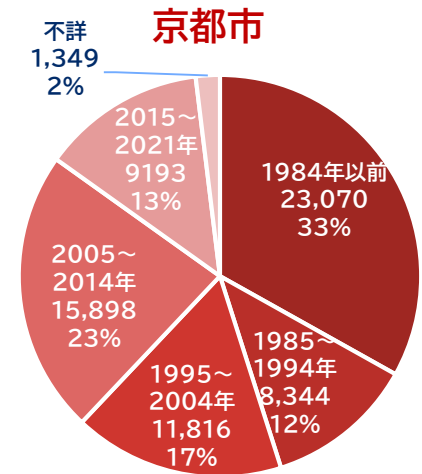
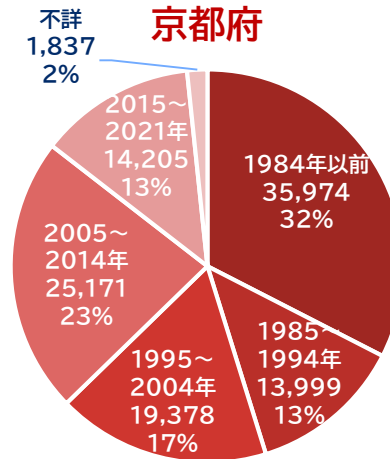
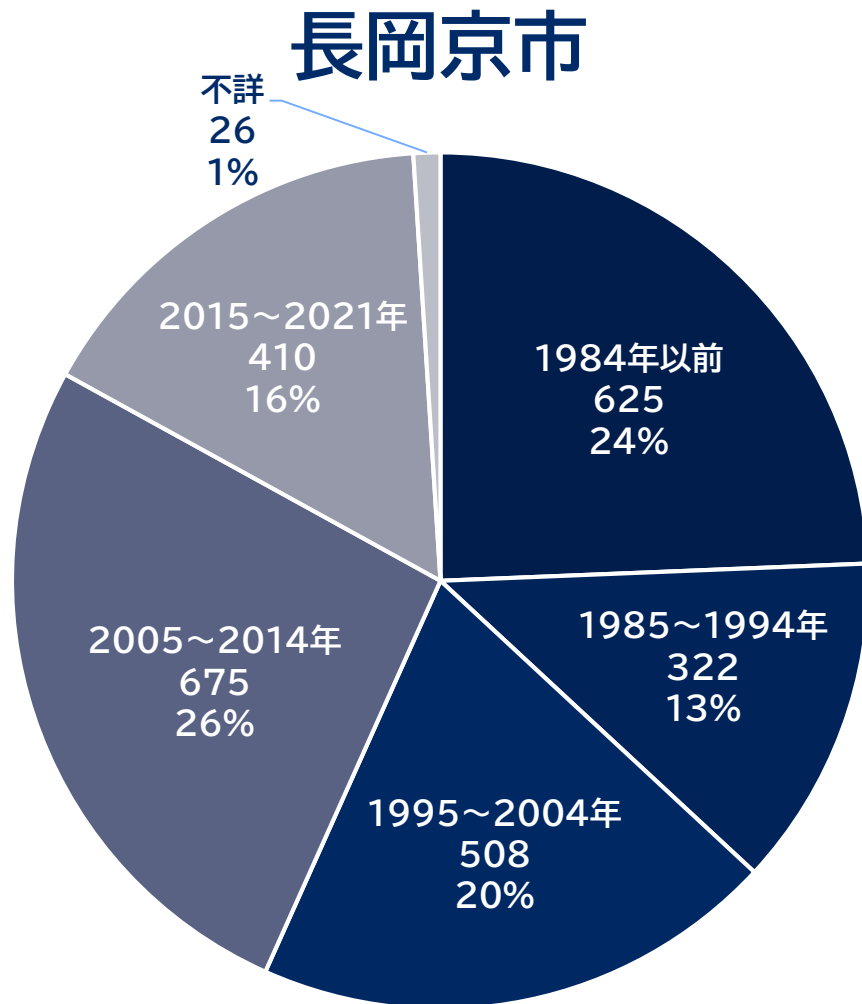
産業別従業員数の推移②

産業別従業員数の増減率(H28-R3対比)



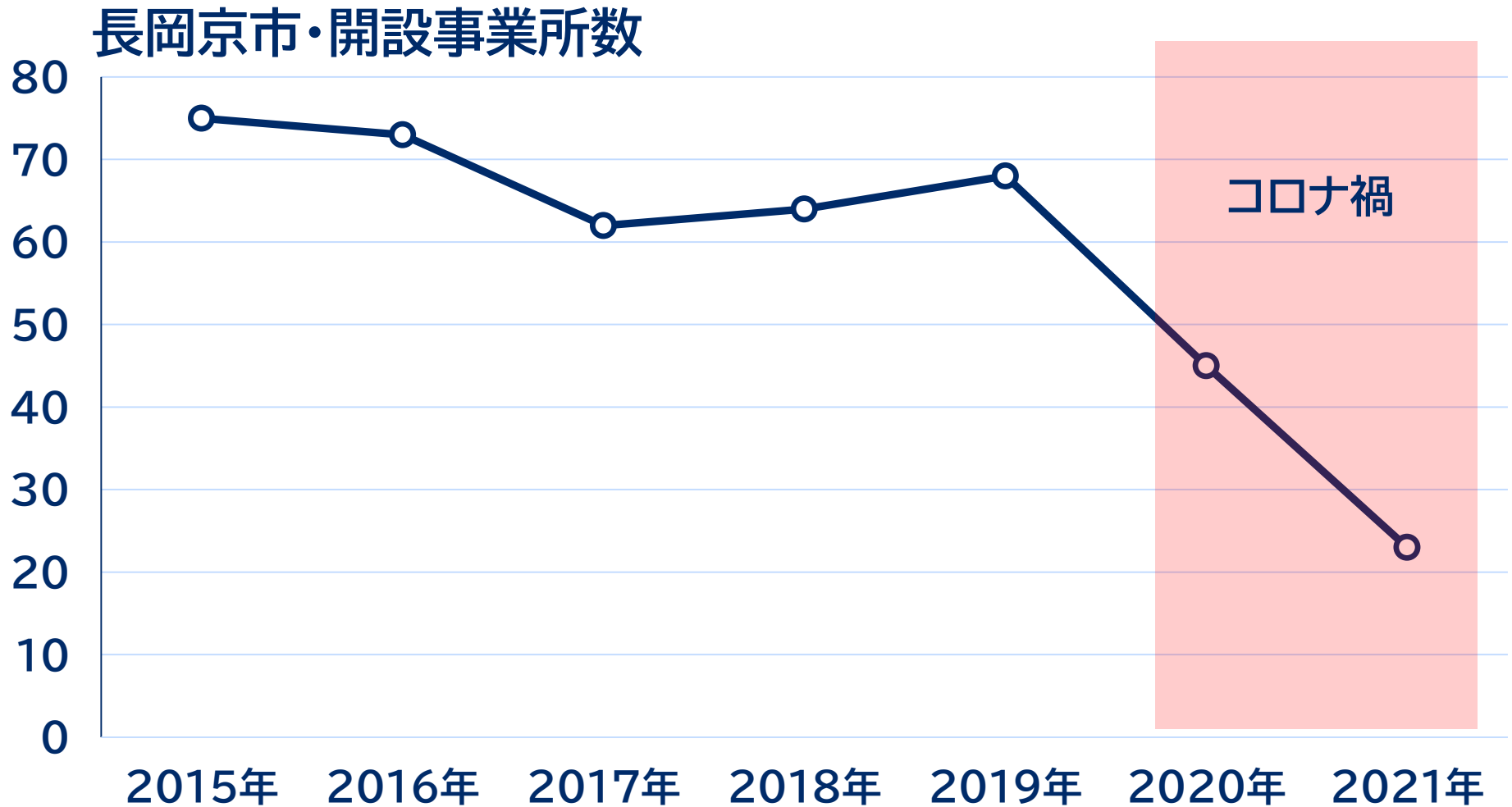
資料: 経済センサス活動調査

開設時期別の事業所数



資料：経済センサス活動調査

開設事業所数の推移（2015年～）



資料：経済センサス活動調査

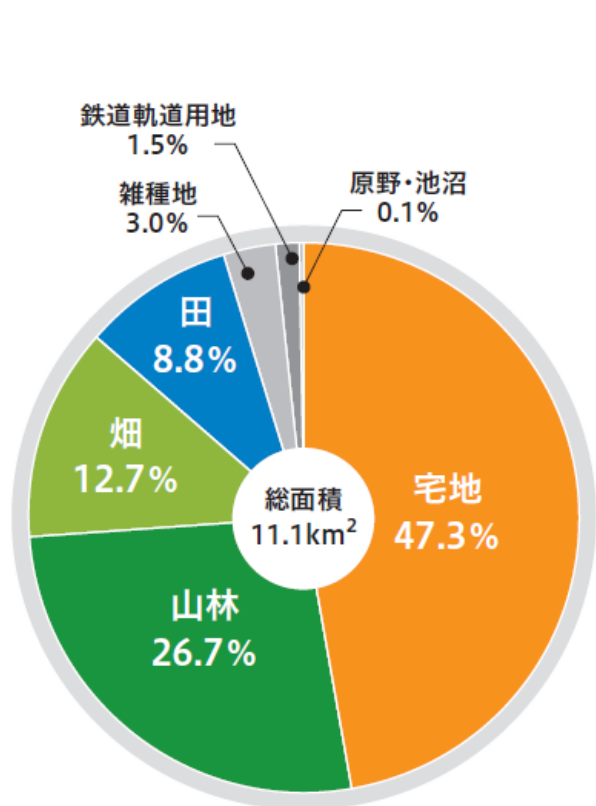
産業別・開設事業所数の推移

産業大分類	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
農林漁業	-	-	1	-	-	-	-
鉱業, 採石業, 砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-
建設業	5	6	2	4	3	1	-
製造業	1	1	1	4	1	3	-
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	1	-	-	-	-
情報通信業	-	-	1	2	-	-	2
運輸業, 郵便業	-	2	1	1	-	1	-
卸売業, 小売業	16	16	13	15	11	14	2
金融業, 保険業	4	-	1	1	1	-	-
不動産業, 物品賃貸業	9	3	8	4	1	2	1
学術研究, 専門・技術サービス業	4	7	6	6	8	2	1
宿泊業, 飲食サービス業	6	6	5	8	10	4	3
生活関連サービス業, 娯楽業	6	6	3	4	5	3	3
教育, 学習支援業	2	8	3	1	5	6	1
医療, 福祉	17	14	13	9	22	7	10
複合サービス事業	1	-	-	-	-	-	-
サービス業(他に分類されないもの)	4	4	3	5	1	2	-

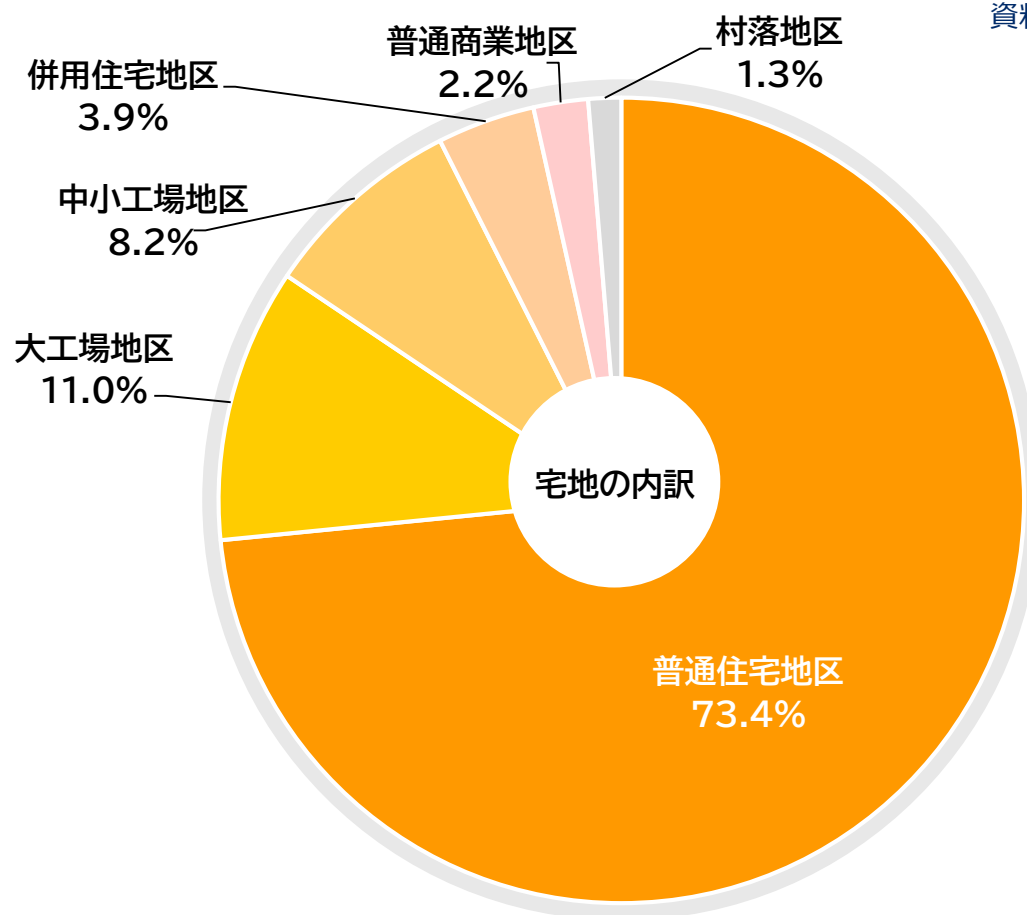
資料: 経済センサス活動調査

地目別土地面積

資料：市税概要

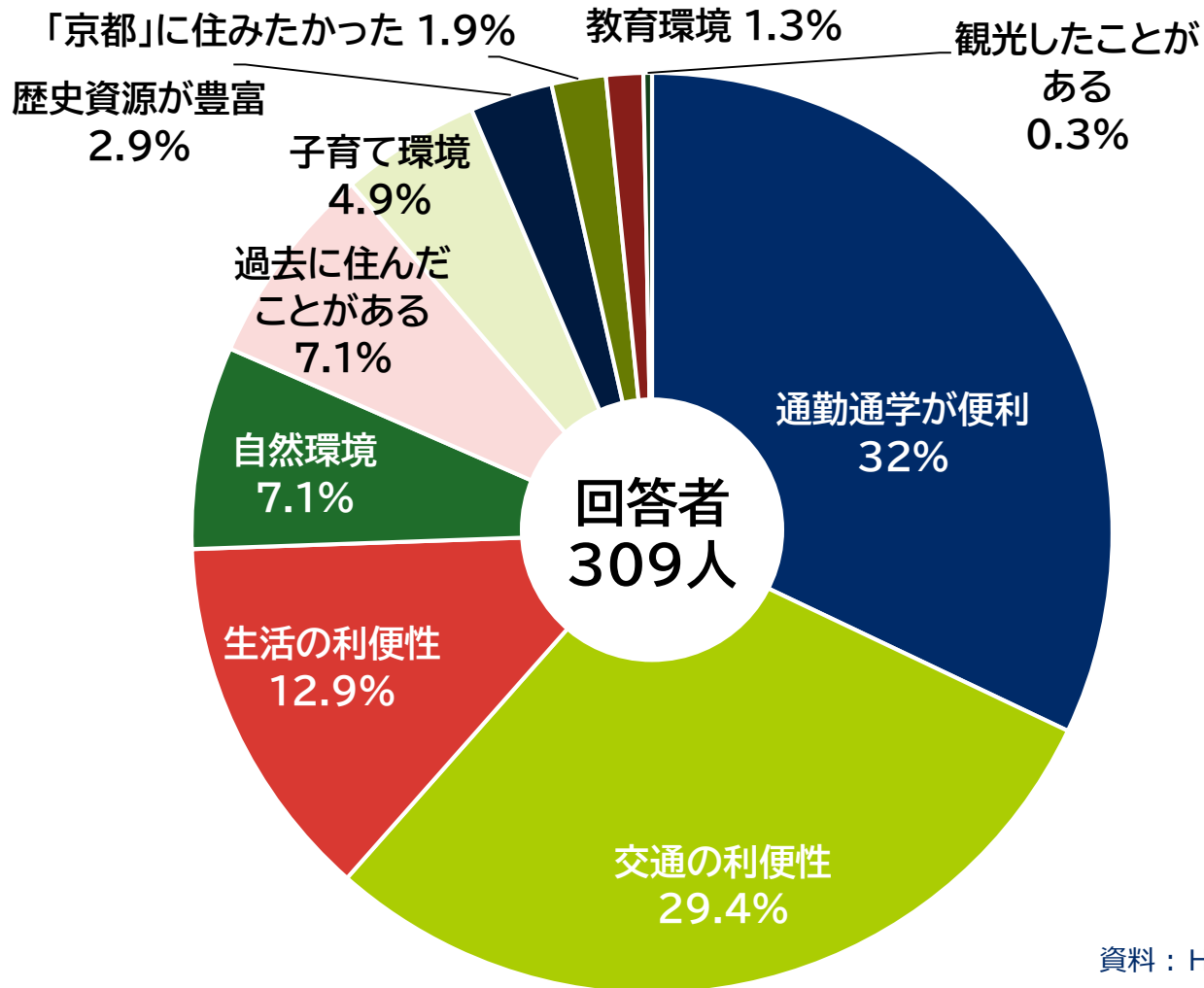


令和3年(2021)1月1日現在
『長岡京市統計書』令和3年版による



- 固定資産税の土地評価に使用する用途地区区分の割合です。
- 実際の事業所面積の割合ではありません。
- 用途地区は土地の利用が類似している地区ごとに区分したものです。

転入者が長岡京市を選んだ理由



2. 評価指標について

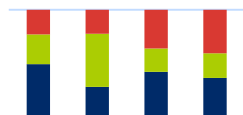
進み具合を中長期的に確認するために

評価指標を設定

中長期的に長岡京市の中小企業振興の進み具合を確認する

確認・評価

評価指標A



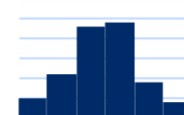
評価指標B



評価指標C



評価指標D



1. 何を中長期的に観測すれば進み具合を確認できるか
2. いくつかの評価指標を設定
3. 各評価指標の推移から中小企業振興の進み具合を確認・評価
4. 施策推進に反映させていく

中小企業振興の推進

2. 評価指標について

観測・分析してみたいこと（前回会議で出た意見）

- 長岡京市での事業の成功・失敗の要因
- 商店街の空き店舗の状況
- SNSなど広告手段とその効果



今後議論を重ねていく中で検討していく

3. 各団体の取組・事業等の報告

報告団体

市・商工会・商店街・地産地消推進協議会（農業）

金融機関・京都府・京都済生会病院（医療福祉）

内 容

- 前年度実施した取組・事業の成果・課題
- 今年度の重点事業・新規事業
- 次年度以降の展開・目標
- 課 題

など

3. 各団体の取組・事業等の報告

- 前年度実施した取組・事業の成果
- 今年度の重点事業・新規事業
- 次年度以降の展開・目標
- 課題 など

上記以外でも共有しておきたいことがあればお話しください

3. 各団体の取組・事業等の報告

順 番

1. 商店街

2. 京都済生会病院

3. 地産地消推進協議会

4. 金融機関

5. 京都府

6. 市

7. 商工会

4. 中小企業振興に関する意見交換

長岡京市の中小企業振興について、

座談会的に意見交換

- ✓ 課題だと思っていること
- ✓ 気になっていること など

4. 中小企業振興に関する意見交換

【座談会的・意見交換】

現在の議題・テーマ

「 」

5. 条例趣旨の理解促進策について

まずは事業者の方に条例の存在や理念を 知ってもらうことが重要

- イベントを通じて知ってもらう
- 広報紙やHPでの周知
- 団体別、業種別に理解を深めてもらう、出前ミーティング・説明会など

手法はいろいろ！

どうすれば事業者の方に
条例を知ってもらえるか？

6. 次回推進会議について・その他

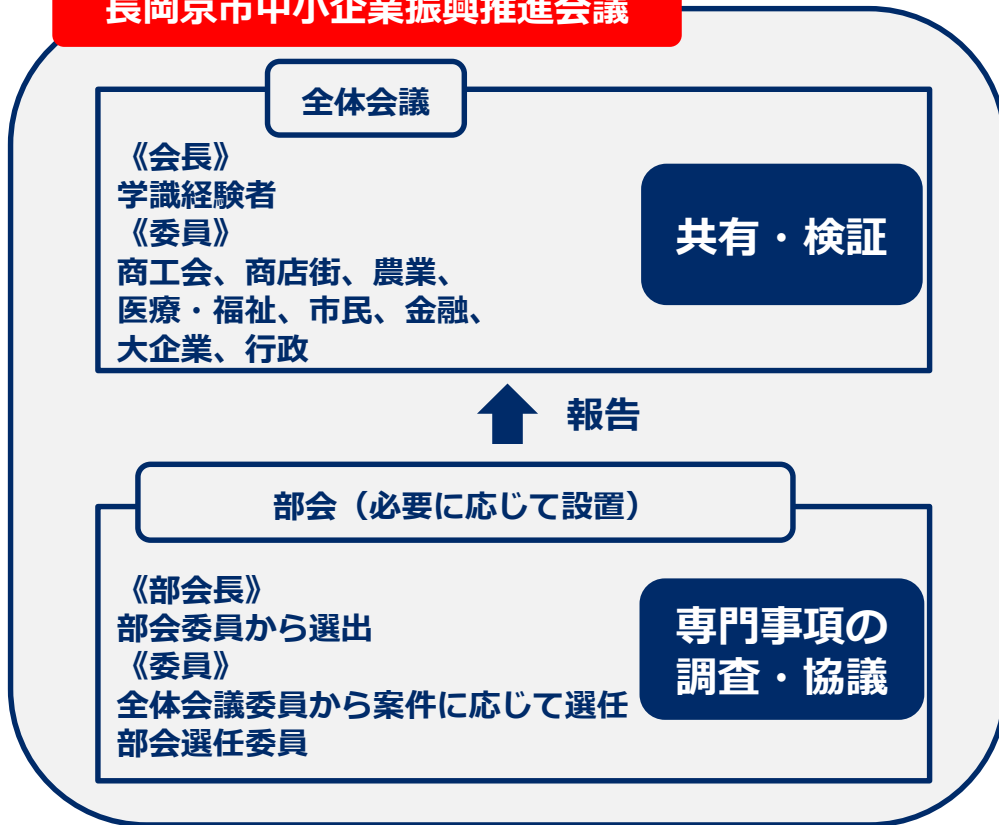
- **次回の推進会議 2月定例**
 1. **今年度の新規事業・重点事業の進捗状況、成果等の共有**
 2. **各団体の次年度事業や予算などを共有**
- **その他**

(参考) 中小企業振興推進会議

推進会議の目的

市と関係団体が、地域経済の実態や将来の展望などの現状認識と課題を共有すると共に、目標や施策の方向性、役割を共有し、関係団体が実施する施策の実施状況やその効果の検証を行い、官民が連携して効果的な施策を推進する

長岡京市中小企業振興推進会議



持続的なまちのにぎわいへ

